平成26年度　学校評価実施報告書

（別添様式）

学校名（　　京都市立大淀中学校　　）

3　2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定
・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施
・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定

・アンケート実施結果，その他指標の結果について整理

	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		自己評価 分析（成果と課題）	自己評価 自己評価に対する改善策		学校関係者評価 学校関係者評価による意見	学校関係者評価 学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
							評価日：平成27年2月26日 評価者・組織：学校評価委員会			評価日：平成27年3月4日 評価者（いずれかに○）：学校運営協議会 学校評議員	
1	確かな学力	言語力の向上	生徒アンケート調査	漢字や英単語の習得した語彙量が増えてきた	そう思うややそう思うの回答は2年生で向上してきた	⇒	学習確認プログラムの結果が，後期には伸び悩んだ。家庭学習も含め，学習に対して集中力を保ち，継続する力が不足していたと考えられる。	前期にも掲げた通り，週末課題と，翌週に実施している確認テストは定着を生かして，いかにして家庭学習の定着化につなげるかが来年度の課題である。	⇒	落ち着いて学習できている状況は，前期から続いていると感じる。一旦学力の向上が図れたと感じましたが，後半やや失速感が感じられた。家庭学習については，今後も定着が図れる取り組みを進めてもらいたい。	定期的な，また適量な宿題を出すのがよいのではないか。また，保護者もしっかりと家庭学習の状況を把握するようにしなければならない。
		学力向上プロジェクトの充実	確認プログラムの分析	確認プログラムの結果	各学年とも，伸び悩み傾向にあり，特に英語が課題である						
		家庭学習の習慣化	週末課題の点検・生徒アンケート	予習・復習，週末課題，確認テストを重視した家庭学習習慣が定着している	家庭学習の定着を言ってきたが，思ったようには浸透していないと感じ						
2	豊かな心	豊かな体験活動の実施	生徒感想文・生徒アンケート調査	地域の行事やイベントへは積極的に参加している	従前よりも積極的に参加する生徒が増えてきている	⇒	前期と同様，地域の行事や学校行事には積極的に参加し，生徒自身もやりがいを感じている。	生徒が地域行事に参加しやすい環境づくりが必要である。部活動との兼ね合いもあるが，地域と日程調整を重ね，取り組みの推進を図り充実させていくことが課題である。	⇒	前期同様に，地域行事にはたくさんの生徒が参加してくれた。学校行事も，生徒たちが積極的に活動している姿が見られ，嬉しい限りです。	部活動との兼ね合いから，なかなか地域行事に参加できないという声を聴く。上手に日程調整が行えないだろうか。
		共生の心の育成	生徒感想文・生徒アンケート調査	学級・学年の友達や部活動の先輩・後輩とも仲良くできている	概ね，どの学年の生徒とも，友人関係は良好である						
		文化的行事の充実	生徒感想文・生徒アンケート調査	学校行事は楽しくやりがいがある	1回目の結果と同様，90%以上の生徒が楽しく，やりがいがあると回						
3	健やかな体	日々の健康安全の保持	健康観察チェック	毎朝の担任等による健康チェックを養護教諭が確認	インフルエンザに罹った生徒も少なく，健康管理は十分にできた	⇒	毎朝の健康チェックを怠らず実施し，生徒の健康に留意している。生徒会の朝のあいさつ運動等のp取り組みによって，遅刻する生徒数は減少している。	前期よりも，教職員の意識が向上し，その結果が生徒にも好影響を与えている。生徒会活動も充実してきているので，来年度も継続していきたい。	⇒	全市的にインフルエンザが流行したが，大淀では，そのことによる欠席者が少なく，普段から学校医と連携しながら生徒の健康に留意していることが感じられる。	生徒の登下校の状況で，気になるような行為は，すぐに学校に連絡が入る。地域が生徒や児童をしっかりとみているからだと思う。
		基本的生活習慣の確立	生活実態調査	遅刻をせず，ベル着もきちんと守れている	1回目と同様に，95%以上の生徒が遅刻もせずに登校できていると						
4	独自の取組	小中一貫教育の推進	小中合同研修時のアンケート結果の分析	小中合同が進んでいるか	各係会の実施回数も増え。内容も充実し，課題も共有している	⇒	小中一貫教育の推進は図れている。教職員や生徒間の交流や合同研修会といったような取組も充実している。また，算数の計算テストを実施し，経年変化で分析したり，道徳等の授業研究参観も実施している。	計算テストっを分析すると，現3年生は，2年生段階よりも数段確実に計算力が向上していた。放課後学習の取組等，地道な取り組みの成果が表れたと考える。	⇒	小学校と中学校が連携して取り組んでいる状況がよくわかって安心している。中学校では「学校だより」は発行していないようだが，今後一考を要する。	担任等の教員がもっとホームページに関わることを望む。また，「学校だより」の発行も願っている。
		規範意識の育成	生徒感想文・生徒アンケート調査	社会生活をする上での規範意識が育ってきた	生徒会の取組もあり，育ってきていると回答する生徒数が増えてき						
		情報発信の充実	学校HPの更新状況	学校ホームページへのアクセス数	学校全体での更新状況が悪く，発信の充実には至らなかった						

4　総括・次年度の課題

「確かな学力」の取組については，その課題を克服するための取組については一定の評価もしていただいているが，まだまだ不十分な点も多く，更なる推進が必要であると考える。結果を伴えるよう，今年度の内容を吟味し、さらに充実した取組にしていかねばならない。さらに，来年度は，「道徳教育」の推進も柱に据え、全教職員で共通理解して取り組みたい。学力向上は，「授業力の向上」や「担任力の向上」を目指した校内研修に取り組み，今年度以上の成果を上げるよう努力を惜しまない。保護者た地域の方々には、本校の教育活動についてある程度、理解していただいているが、教職員と保護者との連携をさらに密にし、より主体的に教育活動に取り組む集団を目指す。また、若年教職員を育てるための取組を具体化する。小中一貫教育については、まだまだ課題はあるが、小中の教職員が一つの方向へ大きく歩みだしているので、次年度はさらに充実した取組に発展するよう各分掌ごとの連絡を密にする。